

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもプラス柳川教室		公表日 令和7年3月10日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	6	マットを静と動で色分けをし、工夫しながら運動や活動を行っている。	利用児童が多い日は少し狭く感じる場合があるので、机の場所や棚などを考えて配置したい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	4	職員は適切に配置している。	利用児童数の下校や利用状況によっては少なく感じる場合もあるので、しっかりと事前に準備を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	教室全体がバリアフリー化されており、ホワイトボードや壁などを使い視覚的にもわかりやすくしている。収納場所が少ないため運動道具やおもちゃなど工夫して収納している。	子供たちが片付けをしやすい収納スペースを確保したい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	3	換気や掃除はこまめに行い清潔を保つようにしている。	静養室や活動スペースなどに一方に児童が集中してしまうと少し狭く感じる場合もあるので声掛けをしていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	4	個人で使用できるスペースはないが、静養室を設けている。	これまではないが、部屋数が多くないため複数の児童からの要望があった場合の対応の検討が必要。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	職員同士で話す時間を確保しており、休みの職員にも情報共有を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	アンケートを実施し、保護者から頂いた評価を職員間で共有し改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	職員間で意見交換を行い随時改善を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		外部評価は行ってないが、今後は検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	月に2回以上のオンライン研修を受講している。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	作成し、ホームページ等で公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	アセスメントは適宜行い児童・保護者のニーズや職員からの話を聞いて、児発管が定期的に作成・更新している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	全職員でアセスメントに記入を行い、気になるところはその都度話し合いをしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	児発管が作成した計画書は全職員が確認し、共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	契約時や毎年4月にアセスメントシートの更新を保護者へ依頼している。相談員のアセスメントも共有し、支援時に確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	個別支援計画書に記載されており、個々の児童に必要なと思われる支援を職員間でも共有している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	全職員で行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎月1カ月の活動内容を計画し、日々児童の状況を確認しながら楽しんで運動できるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	児童の状況に応じて、動き活発な子には集団遊びを取り入れたり個々にあった活動を計画を作成し支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎日支援開始前のミーティングにて、その日のスケジュール確認や役割を確認し支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援後には支援内容や児童の気になった所などを職員間に共有し、今後の支援を確認している。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	利用児童の活動や支援内容など記録を取り、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	利用児童の相談員や児発管がモニタリングを行い、6ヶ月ごとに個別支援計画を更新している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	意識しながら行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	児童の様子を確認しながら、押し付けるのではなく「やる」「やらない」を自分で選択できるよう、自分で伝えられるような支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	協力医療機関、障害福祉、教育機関との連携体制は整えている。学校とも情報共有し、児童と共に支援している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校との連絡はその都度行っており、送迎時にも担当の先生と話すようにしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。	7	0	必要に応じて行っており、情報共有をしている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	7		利用児童の多くが小学生で、卒業をした児童がいなかったため現在は行っていないが、対象児童がいる場合は情報共有を行ってきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	支援センターから支援内容についての計画書等を情報共有してもらい、必要に応じて助言を求めている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	今年から地域との交流会にも参加している。他教室との合同イベントなどの機会も作っている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	児童発達支援管理責任者・管理者が積極的に参加している。	職員全体で参加できるようにしてきた。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	個人連絡帳を作成し、日々の活動内容を写真や文章でお伝えしている。送迎時にも状況や課題等を話している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	管理者からお伝えしている。研修チラシやいい動画研修があればお知らせしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に管理者より細かく伝えている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者の意向を確認し支援を行っている。送迎時などにも話しやすい雰囲気を作り聞き取りを行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	児童発達管理責任者が作成した計画書を保護者へ提示しながら説明をし、内容を確認していただき同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談があればその都度対応し支援している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	7		コロナ等の感染症対策の為行っていなかったが、今後は設けていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情マニュアルを作成し、迅速に対応できるようにしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	「プラス通信」というお便りを毎月発行し配布している。またSNSを利用してイベント等の連絡を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報関係は鍵のかかるロッカーで保管しており、破棄する場合もシュレッダーにかけている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	児童にあった対応を保護者・職員間で伝え合い、児童が理解しやすい努力をしている。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	招待等の交流は行っていない避難時の協力はお願している。市町が行っているイベント等には参加をしている。	今後は地域の方を教室へ招待するようなイベントも考えていきたい。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	定期的マニュアルの見直しは行っており、緊急連絡先等の提出もお願いしている。定期的な訓練も行っており、時期・内容を保護者に伝えている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画は策定しており、敵機的な訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	保護者から契約時、年1回更新しているアセスメントを提出していただき、状況を共有している。変更がある場合は随時連絡をいただいている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	7	現在、食物アレルギーの子供は利用していない。	対象児童が利用する際は職員間での共有し対応をする。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画にのっとり、研修や訓練を行い支援している。避難訓練など必須な研修訓練を行い、環境整備なども十分に行っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	安全計画に基づき、緊急避難時の家族との連携がスムーズに行えるよう配慮している。緊急連絡簿に連絡先を記入してもらっている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハット事例を全職員に状況等を説明し、対策についてもその都度話しあっている。ファイルにまとめて保管し、不在にしていた職員が確認できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年に2回の虐待研修を全員で受け、理解・確認を行っている。まとめたレポート等は後日見れるようにしている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	現在、身体拘束をしている児童はいないが事例を教えてもらい勉強している。		